

琉球大学学術リポジトリ

モモイロドウクツガザミの沖縄島と伊江島からの初記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2018-03-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤田, 喜久, 水山, 克, Fujita, Yoshihisa, Mizuyama, Masaru メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38790



モモイロドウクツガザミの沖縄島と伊江島からの初記録

藤田喜久^{1,3}・水山 克²¹〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵 1-4 沖縄県立芸術大学²〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原 1 番地 琉球大学大学院理工学研究科³通信著者 (e-mail: fujitayo@okigei.ac.jp)

記録

琉球列島の海底洞窟調査の過程で、沖縄島および伊江島から合計 4 個体 (沖縄島 2 個体, 伊江島 2 個体) のモモイロドウクツガザミ *Atoportunus gustavi* Ng & Takeda, 2003 を採集した (図 1)。今回、沖縄島および伊江島から採集された標本は、Ng & Takeda (2003) や藤田ら (2013) で示されたモモイロドウクツガザミの特徴に良く一致していた。藤田ら (2013) は、本種の鉗脚の長節前縁の歯数と、可動指および不動指内縁の歯数に個体変異があることを指摘したが、本研究で観察した個体についても、鉗脚の長節前縁の歯数 4-7、可動指内縁の歯数 2-3、不動指内縁の歯数 4-7、と変異が見られた。

沖縄島産の標本 2 個体は、沖縄島最北端の辺戸岬に近い“辺戸ドーム”と呼ばれる海底鍾乳洞より採集された。辺戸ドームは、洞窟開口部の水深が約 15 m、洞窟の奥行きは約 53 m であり、開口部から奥に向かうほど水深が浅くなり、最奥はエアドームになっている。洞窟内には、多くの側洞や階層構造が見られ、洞口から約 40 m 地点には多数の石筍とシルトの堆積が見られる空間が存在している。今回得られた標本は、いずれも、この空間の転石帯の転石下に潜んでいる状態で発見された (図 1A)。

伊江島産の標本 2 個体は、いずれも同島北東部に位置する同一の海底洞窟より採集された。今回本種が採集された海底洞窟は、“オホバ”と呼ばれるダイビングポイント付近に位置しているが、特に洞窟に名称は与えられていないようである。この海底洞窟は、洞窟開口部の水深が約 17 m、洞窟本洞の奥行きは約 45 m で、開口部から約 30 m の地点に側洞があり、そこを進むと比較的大きな空間 (底部の最長部が約 10×14 m、高さが約 8 m) が存在している。この側道の大空間には、顕著な鍾乳石は見られないが、石灰岩が溶食作用を受けた部分があり、少なからず淡水の影響を受けていると推察される。今回得られた標本は、いずれも、側道の大

空間の最奥部付近の壁面にて発見された (図 1C)。モモイロドウクツガザミのこれまでの分布記録は、国外ではグアム島 (タイプ産地) とオーストラリア領クリスマス島、国内では与那国島と宮古諸島の下地島の 4 島のみ限定されており (Ng & Takeda 2003; 藤田ら 2013)、本報告は、標本に基づく沖縄島と伊江島からの初記録となる。なお、今回採集された標本は、以下の通り、すべて琉球大学博物館 (風樹館) (RUMF: Ryukyu University Museum, Fujukan) に収蔵した: RUMF-ZC-03982, 1 雄 (甲幅 8.8 mm, 甲長 4.9 mm), 2016 年 8 月 10 日, 辺戸ドーム, 水深 9 m, 水山克採集; RUMF-ZC-03983, 1 雄 (甲幅 14.5 mm, 甲長 8.3 mm), 2016 年 8 月 10 日, 辺戸ドーム, 水深 9 m, 水山克採集; RUMF-ZC-03984, 1 雌 (甲幅 18.8 mm, 甲長 10.8 mm), 2016 年 9 月 7 日, 伊江島海底洞窟, 水深 20 m, 水山克採集; RUMF-ZC-03985, 1 雄 (甲幅 22.2 mm, 甲長 12.8 mm), 2016 年 9 月 8 日, 伊江島海底洞窟, 水深 20 m, 水山克採集。

謝辞

沖縄島および伊江島の海底洞窟調査では、国頭漁協の勝島吉博氏、伊江島ダイビングサービスの湯野川恭氏、名古屋大学の伊勢優史博士、九州大学の菅浩伸博士、琉球大学の成瀬貫博士に大変お世話になった。本研究の実施および取りまとめの一部は、独立行政法人日本学術振興会の平成28年度科学研究費助成事業 (基盤研究C: 課題番号16K07490) および平成28年度科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) (基盤研究S: 課題番号16H06309) による援助を受けた。

引用文献

- 藤田喜久・成瀬貫・山田祐介, 2013. 宮古諸島下地島の海底洞窟で採集されたカニ類 2 稀種. *Fauna Ryukyuana*, 1: 1-9.
- Ng, P. K. L. & M. Takeda, 2003. *Atoportunus*, a remarkable new genus of cryptic swimming crab

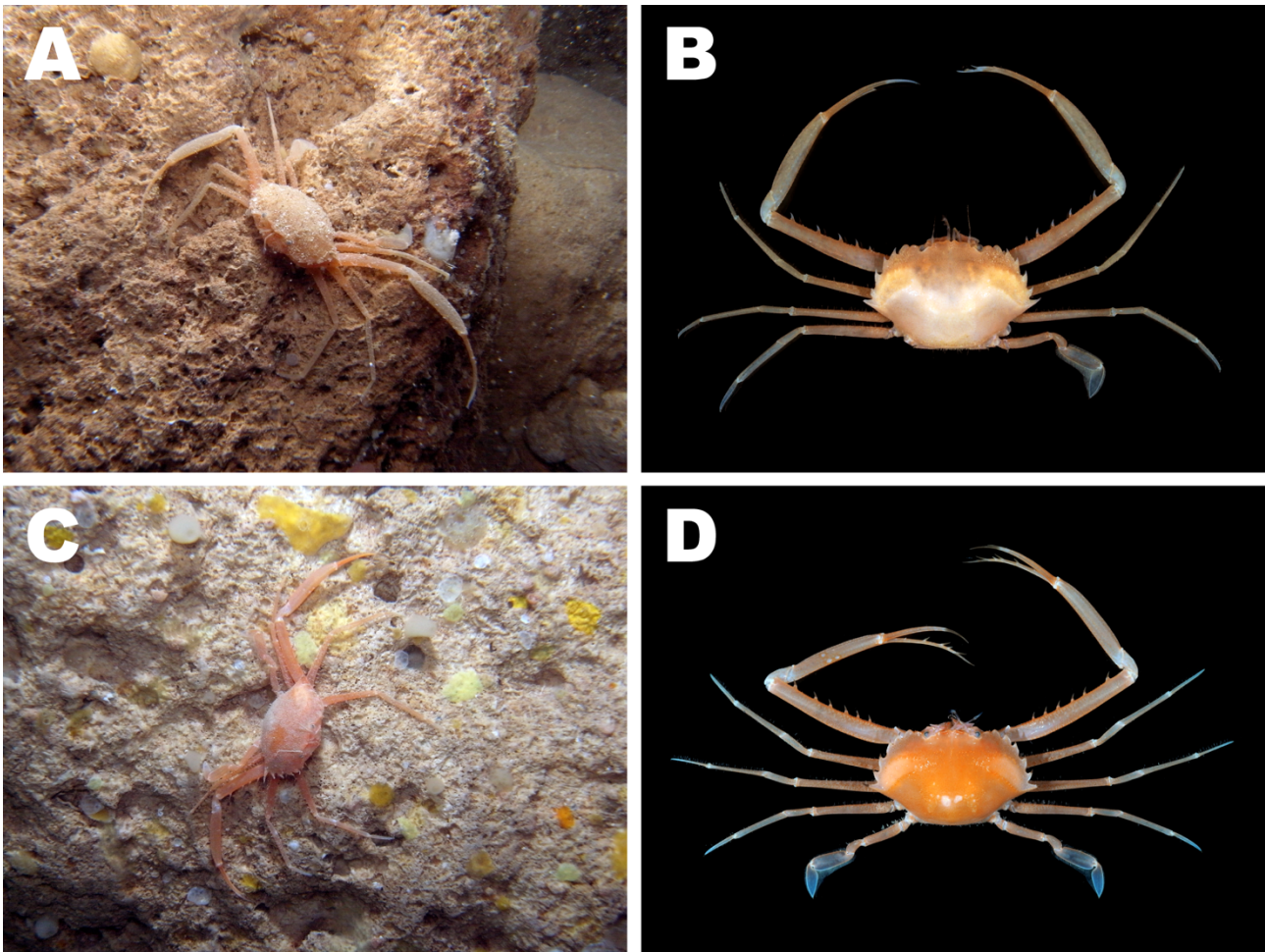


図 1. モモイロドクツガザミ. A, 海底洞窟内 (辺戸ドーム, 沖縄島) における様子 (RUMF-ZC-03983); B, 辺戸ドームから採集された個体, 雄, 全体背面 (RUMF-ZC-03983); C, 海底洞窟内 (伊江島) における様子 (RUMF-ZC-03985); D, 伊江島から採集された個体, 雄, 全体背面 (RUMF-ZC-03985).

Fig. 1. *Atoportunus gustavi* Ng & Takeda, 2003. A, in situ photograph at Hedo Dome, Okinawa-jima Island (RUMF-ZC-03983); B, dorsal view of fresh specimen collected from Hedo Dome, Okinawa-jima Island (RUMF-ZC-03983); C, in situ photograph at Ie-jima Island (RUMF-ZC-03985); D, dorsal view of fresh specimen collected from Ie-jima Island (RUMF-ZC-03985).

with descriptions of two new species from the Indo-West Pacific. *Micronesica* 35/36: 417–430.

New distributional record of *Atoportunus gustavi* Ng & Takeda, 2003 (Decapoda: Brachyura: Portunidae) from Okinawa-jima and Ie-jima Islands, Ryukyu Islands, southwestern Japan

Yoshihisa Fujita^{1,3} & Masaru Mizuyama²

¹ Okinawa Prefectural University of Arts, 1-4 Shuri-Tounokura, Naha, Okinawa 903-8602, Japan (E-mail: fujitayo@okigei.ac.jp)

² Graduate School of Engineering and Science, University of the Ryukyus, 1 Senbaru, Nishihara-cho, Okinawa 903-0213, Japan. (E-mail: mizuyama58@live.jp)

³ Corresponding author

Abstract. A rare portunid crab, *Atoportunus gustavi* Ng & Takeda, 2003 (Decapoda: Brachyura: Portunidae), is recorded from submarine caves in Okinawa-jima and Ie-jima Islands, Ryukyu Islands, southwestern Japan. This record represents the first discovery of *A. gustavi* from the islands and extends the geographical range of this species northward.

投稿日: 2016年10月5日
受理日: 2016年10月6日
発行日: 2016年11月26日